

注目のイベント

担当学芸員の  
ギャラリートーク

展覧会を担当する学芸員が、展示室内で主な出品作品について解説します。作家について、作品の背景について知ることができ、鑑賞がよりいっそう楽しくなりますよ。

- 浜口陽三展会期中  
日時：4/27(水)、5/21(土) 14:00～
  - 和田英作展会期中  
日時：6/18(土)、7/16(土)、8/6(土) 14:00～
- 会場：佐野美術館 2階展示室  
※申込不要・聴講無料・入館券をお求めの上、展示室入口にお集まりください。

その他のイベント

2016.4-7

浜口陽三展会期中

- 5/28(土)  
初めての銅版画(ドライポイント)講座
- 4/30(土) **小学生対象講座**  
紙や布や葉っぱで版画をつくってみよう

和田英作展会期中

- 7/30(土)  
講演会「和田英作 作品鑑賞の手引き」
- 7/2(土)  
初心者の鉛筆デッサン講座
- 7/23(土) **小中学生対象講座**  
はじめての油絵

常設展示室

平成28年度常設展示室ケース、第一期【6.11(土)ー8.7(日)】のご案内です。

展示予定作品

第一期テーマ/平安時代の刀剣

大陸からもたらされた直刀が、反りや鑄といった特徴を備える日本刀として完成したのは、平安時代後期(11世紀～12世紀頃)のことでした。華麗な王朝文化が華開いた、平安の世の雅さを宿した刀剣をご紹介します。

- 太刀 銘 安綱
- 重要美術品  
太刀 銘 包平
- 重要美術品  
太刀 銘 利恒(付 黒漆太刀拵)
- 太刀 銘 備前国景安(付 糸巻太刀拵)



重要美術品 太刀 銘 包平

新収蔵品より

井上恒也 《カモシカの子(仔)》 昭和46年(1971)

白い毛に覆われたニホンカモシカの子が大きな目をこちらに向けて立っています。この凛々しくも愛らしい姿を描いたのは、日本画家の井上恒也(明治28・1895年～昭和54・1979年)です。

恒也は静岡県富士郡田子浦村(現富士市宮島)に生まれ、東京美術学校(現東京藝術大学)を卒業後、文展や帝展、日展で活躍しました。戦後は、日本橋三越で毎年開催した個展を主な発表の場としました。モチーフは幼い頃から好きだった鳥などの動物や植物でした。

本作は第23回の個展に出品した76歳のときの作品です。同展では国の特別天然記念物の動物を描いた作品を展示しました。作品制作に際し、恒也はできる限り生息地へ赴く

ことを旨としていました。恒也の作品からは、野生動物への敬意の念と温かな眼差しが感じられます。

当館は平成26年度、本作を含む6点の井上恒也の作品を三井生命保険株式会社様よりご寄贈いただきました。当館所蔵の他の恒也作品に、先の個展へ出品した《初夏》というニホンカモシカを描いた作品があります。いつか展示室で“カモシカの親子”を対面させたいと思います。



1 開館記念展

昭和41年(1966)11月11日、展覧会初日。刀剣、刀装具、中国の古陶磁・青銅器・仏像など創業者・佐野隆一のコレクションをお披露目した。館名の書を手掛けた、当時の理事長・原安三郎は、日本化薬会長を務めるなど財界に足跡を残した実業家。

2 中国・朝鮮古陶磁器、白隠展

白隠展の題字は松蔭寺の宗鶴老師による。展示室2室と2階ロビーにて開催。当館の第一回目の講演会には講師に淡川康一(禅画研究家)を迎えた。第二回目講師は「備前の名刀」にちなみ初代常務理事・本間薫山(日本刀研究家)。

3 県下名刀展、能面・能装束・古鏡

題字と画は、初代館長・下田舜堂(日本画家)による。当時は刀剣の展覧会の時に、鑑定会も行っていた。同時展示の能面・狂言面は約50点、能装束は約10点、古鏡は40点展示。

佐野美術館創立50周年  
フォトアルバム I

連載 其の二十

渡邊妙子館長の

ひとこと  
いいかしら？

昭和四十年代の三島

昭和41年8月1日、私は佐野美術館に学芸員として赴任した。当時三島の人口は七万数千人、静かな町であった。楽寿園には豊かに湧水があふれ、水泉園から三嶋大社に通じる柳小道添いには清水がとうとうと流れ、緑の藻がたゆたっていた。なんと清らかな町である。富士山と湧水、そして大気。私はこの町に縁を得た幸せに浸っていた。

町の中心を東西に通じる大通りは旧東海道、箱根路を下る松並木から三嶋大社へのたざまには、広重の東海道五十三次の浮世絵をそのまま残している。街中に入ると、染物屋、糸屋、刃物研処など、また、菓子舗、酒屋、乾物屋、小路に入ると魚屋、八百屋と軒を並べている。特に乾物屋は間口も広く、出汁昆布・鰹節・豆類など各種揃えられている。なぜ、小さな町に食に関する店が充実しているのかとの謎は程なく理解することになる。

この町は、夕暮れになると活気づく。東海道の表街道から南北ともに小路に入ると数寄屋造りの料理屋の暖簾に出会う。戸を開ければ「まあ！まあさん！」と明るい女将の声。やがて三味の音が耳に心地よい。また小奇麗な飲み屋が軒を連ねる。一歩入ると、粋な袖を着こなした女将の笑顔に迎えられる、カウンターに腰掛けると、手際よく酒・お通しが揃えられる一日の疲れを忘れさせる。

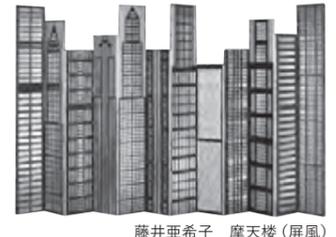
飲み屋千軒といわれた三島、周辺の町や村から人を寄せた町であった。初代佐野美術館館長で日本画家の下田舜堂先生は粋なお方で、夕方になるとどこからともなく友達が集まり、新入りの私を連れだつて、夜の町に出立ったのであった。

INFORMATION さんしんギャラリー 善 2016.4-6 展覧会スケジュール

さんしんギャラリー 善は、伊豆・東部の創作活動を支援する目的で、三島信用金庫が100周年記念事業の一環として開設しました。佐野美術館が運営を委託されたギャラリーです。

- 4/1(金)～4/25(月) 藤井亜希子 表装
- 5/1(日)～5/25(水) 鈴木まもる 絵本・鳥の巣
- 6/1(水)～6/25(土) 永澤永人 陶芸

お問合せ：さんしんギャラリー 善  
〒411-0857 静岡県三島市芝本町12-3  
TEL 055-991-0034 <http://www.sanshin-zen.jp>



藤井亜希子 摩天楼(屏風)

開館時間：10:00～17:00(入館の受付は16:30まで)  
休館日：毎週木曜日(祝日の場合開館)/  
展示替期間中/年末年始

交通案内  
JR三島駅南口より  
・南へ1.3Km左側  
・沼津登山東海バス(4番のりば：新城橋行き又は大平車庫行き)/三島循環バス「せせらぎ号」(1番のりば)で「佐野美術館」下車  
・伊豆箱根鉄道に乗換え「三島田町駅」下車徒歩3分  
東名沼津I.C.より  
・伊豆箱根方面へ8Km、三島玉川交差点を左折、二つ目信号を右折  
東名裾野I.C.より  
・南へ13Km  
新東名長泉沼津I.C.より  
・伊豆箱根方面へ10km

※駐車場あり。混雑時には市営駐車場(有料)もありますのでご利用ください。

Welcome to Tully's Coffee  
タリーズの1杯が満たされた  
空間を演出します

タリーズコーヒー  
(三島日清プラザ店)  
三島市中田町9-30  
日清プラザ1F  
(沼津店)  
沼津市高島本町1-5  
イシバシプラザB1F  
アネックスF2

お食事処  
佐野美術館敷地内  
TEL055-973-2678 FAX055-976-1181 ☎0120-08-2648

純日本風な  
寛ぎと  
おもてなしの心で  
お迎えいたします。

「一言」コメント「今年こそやり遂げたいこと」：フリーペーパーを作ってみました!! (伊豆の国市 Fさん) 毎朝早く起きて、家の周りを走ることを習慣にしたいです! (長泉町 Kさん) あこがれの「小さなくらし」をめざしたいと思っています (御殿場市 Sさん)

「一言」コメント「今年こそやり遂げたいこと」：ダイエットして、マイナス2キロ! (三島市 Eさん) 休肝日をつくる! (三島市 Iさん) 富士山に登って、頂上まで挑戦したいです (沼津市 Mさん) ●次回のお題は「わたしの人生の節目」です。